

# すずらん通信

Vol.53  
令和5年  
9月29日  
発行

## 不登校対策検討委員会

昨年は感染症対策により書面での会議となりましたが、今年度は対面での開催となりました。この会議にて、鈴蘭学園からは不登校対策として次の3つの案を提示いたしました。また、それぞれに相模原市教育委員会からの回答をいただきました。

### ①支援級の充実化

これに関しては、市教育委員会からも前向きに検討していかなければならない事案であるとの回答をいただきました。

### ②フリースクール等への補助金

補助金については、財源などを市教育委員会が決定する権限を持たないため、ここで返答することはできないとの回答をいただきました。

### ③学校の中での不登校相談会開催

この提案につきましては、開催できる学校を検討して前向きに考えていきたいとの回答をいただきました。

次回の不登校対策検討委員会にて、市教育委員会が、①および③の提案に対してどの程度の進捗を報告してくださるのか今から楽しみです。（中村 鳴美）

## 相模原不登校相談会

9月10日、台風が去った2日目だったこともあり、とても暑い日でした。そんな

中、68名46組139件の相談があり、鈴蘭学園のブースにも8組の方が、相談に来られました。学校以外の選択肢を選ぶことで子どもが明るくなったという保護者のお話や、「明るい不登校」と表現していた児童本人のお話が印象的でした。それでも、まだまだ学校以外の選択肢に一步を踏み出すことを迷われている親御さんもいました。子どもも親も勇気がいることですね。（中村 鳴美）



## 桜美林大学公認心理師

### 実習生受け入れ

今年度で2回目となりました。フリースクール鈴蘭学園と放課後等デイサービスリリーベルにて、公認心理師を目指している桜美林大学の学生さんを実習生として受け入れました。1人5日間で30時間の実習です。3名の実習生のうち、9月は1名の学生さんが来て、一生懸命やっていました。子どもたちとふれ合うなかで多くを学んでいたのだと思います。頑張ってくださいね。

（中村 鳴美）

## フリ・フリ・フェスタ2023

9月9日、県立青少年センターにてフリ・フリ・フェスタに参加しました。県内の若者支援団体が集まって模擬店やシンポジウムなどで啓発活動をするイベントです。

鈴蘭学園は例年通り古着や雑貨を販売しました。ここ数年は感染症対策のために中止となったり、施設改修のために規模が縮小されたりとなかなかうまく行きませんでした。久しぶりに従来のスタイルでの開催となりました。

鈴蘭からは小学生が2名参加してくれました。店番や売込みに精を出すだけでなく、卓球大会にも出場して他団体の子どもとも交流しました。普段は大人しくしている子どもも環境が変わると積極的になってくれます。

来年以降は他団体の出店状況も見つつ、飲食店への変更も考えています。それで一層お祭りの雰囲気を感じられるようになると良いですね。（菅原 雅史）



## プロジェクト進行中・・・

前の通信でフリースクール本部の建て替えについて書いたかと思います。その後の進捗状況を・・・。「建て替え」と書いていましたが、実はリフォームというのが相応しいかもしれません。と言うのも、話を

聞いていく中で「建て替え」と言うよりも「リフォーム」と言った方が合っているようです。しかし、中の構造などを改修したりするので「リノベーション」と言うものなのかもしれません。生徒と「よくわからないね」なんて話しています（笑）

さて、この改修期間は2～3ヶ月。私はいつも、鈴蘭・リリーベルへ向かう時は横浜線に乗って橋本方面から向かうので、矢部駅に着く寸前で隣家との隙間からチラリと見え、工事が進んでいるのかなと確かめているのですが、8月の間はほぼ動きなし。現場を仕切る職人さんの中でコロナに感染された方が居たようで、それで進んでいなかったようです。こんな所にもコロナの影。

9月に入り、鉄骨が組まれて、裸電球がついている所を見ると工事は動いているのかなあ・・・という状況。鈴蘭の仮場所へ行く時にも迂回しながら、工事の進捗状況を外から見ている私です。建物の見た目はまだ変化なしなので、残りの期間で一気に進めて完成へ持っていくのか？後は天気が荒れなければ工期に大幅な遅れが出ないことを祈って、日々進捗状況を見守っています。（桑原 和也）

## リリーベル活動報告

夏の暑さが徐々におさまり、清々しい秋の気配が感じられる季節になりましたが、季節の変わり目ですので、皆様体調を崩されませんようご注意ください。7月末から9月にかけてのリリーベルでは、7月28日に警察庁への見学、8月の第1週にリリーベルミニ夏祭りなどを催しました。

警視庁の見学には、職員と児童たちが一

緒に矢部駅から霞が関駅まで1時間近くかけて電車で移動しました。霞が関に到着した後、はじめに昼食をとりました。昼食は農林水産省にある食堂で休憩を取り入れつつ済ませました。農林水産省内では「カレーのヒ・ミ・ツ」と言う展示会をやっており、アンケートに答えておみやげにレトルトカレーなどを頂きました。

警視庁へは農林水産省から徒歩10分程度の距離でした。警視庁では「ふれあいひろば警視庁教室」、「警察参考室」、「通信指令センター」を見学しました。最初に「ふれあいひろば警視庁教室」では警察官の仕事の紹介や役割、警察官から出題されたクイズに挑戦しました。次に「警察参考室」という資料室に移動して、歴代の警察官の制服や様々な事件の概要やその事件で用いられた実物、明治時代以降の警察の成り立ちを紹介する歴史的な書物を見学しました。児童たちは、資料を閲覧しながら警視庁内部のスタンプラリーに奔走し、スタンプを集めた児童たちには警視庁見学の記念の景品と交換しました。最後に、「通信指令センター」の見学フロアにて、リアルタイムで起きている110番通報に迅速に対応している警察官の姿を皆で見ることができました。

警視庁の見学は、職員や児童たちに事故もなく無事に終わられました。児童たちからは「楽しかった!」と言う声も聞け、職員たちも興味深い内容や改めて知ったこともあり、児童たちのみならず職員にとっても貴重な体験をさせてもらいました。



次に、8月の第1週に催したリリーベル夏祭りです。リリーベルミニ夏祭りでは、児童たちも協力して駄菓子くじ、スーパーボール・プラバンすくい、ポップコーンやかき氷などを出しました。ポップコーンは出来上がる過程をじっくり見る児童もいました。味付けは塩味と塩バター味を出しました。かき氷では、ブルーハワイ、レモン、メロン、イチゴ、練乳を出しました。



最後に、8月と9月に行った調理活動です。8月最初のランチメニューは、リリーベル夏祭りに合わせて、縁日を意識した「縁日スペシャルセット」です。メニューは、焼きそば、フランクフルト、イカ焼き、漬けきゅうり、焼きとうもろこしでした。皆で美味しく料理しました。



次の料理は、豚平焼きです。具材の豚肉と野菜を炒めてから、フライパンに溶き卵を流し入れて作りました。児童たちの盛り付けがとても上手にできていました。

その他には、カレー粉やバターを入れて

煮込んだバターチキンカレーを作りました。なかなか味付けに苦労して、皆で工夫して作り上げました。皆で頑張ったカレーは美味しく出来上がり、美味しくいただきました。

9月には、かぼちゃとじゃがいものシチューライスととんかつなどを作りました。シチューライスの具材は利用者のご家族のご厚意により、かぼちゃとじゃがいもを頂きました。鍋に入れた人参は星やハート型にくり抜き、そこにかぼちゃとじゃがいもを入れて美味しく頂きました。とんかつは、豚ロースと小麦粉、卵、パン粉と児童たちの流れるような動きで、あっという間に出来上がりました。揚げたとんかつはジュシーかつボリューミーで皆満足のランチとなりました。



最後に、9月は料理活動以外にもお菓子作りとして「クッキー」を作りました。できた生地から星やハート型でくり抜いて、オーブンで焼きました。焼きあがったクッキー児童たちが惜しそうに食べていました。

今後もリリーベルでは子どもたちに寄り添い過ごしやすい空間と『やすらぎ』の場であることを願って、職員一同頑張っています。(貞清 裕介)

## 中村のちょっと喜んでいる話

9月になっても熱中症なりそうなくらい暑い日が続いていますが、そんな中、神奈川県「県のたより」9月号に、中村のちょっとしたコメントと写真が載りました。これを見た子どもたちが、「表紙の黒岩知事より中村さんの写真の方が大きいね」と…。良いのか悪いのか…? web版もありますので、ぜひご覧ください。



7面『夏休み明け「学校に行きたくない…」と言われたら』です。

## お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL: 042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。